

目次

はじめに

Drive Image とは	1
Drive Image を使用するメリット	1
クイックスタートガイドについて	2

Drive Image 7.0

Drive Image の動作概要	2
Drive Image 7.0 の新機能	2
システム要件	3
Drive Image をインストールする	4
PQRE で起動する	6
Drive Image のライセンス認証	7
Drive Image を起動する	8
基本表示と詳細表示	8
PowerQuest Backup Image Browser	9
Drive Image で実行できる作業	11
バックアップイメージを作成する	12
通常のバックアップを作成する	12
バックアップの保存場所の決定	13
バックアップを復元する	15
PQRE のトラブルシューティング	16
Backup Image Browser を使用する	16
ドライブをコピーする	17

テクニカルサポート

テクニカルサポートへ連絡する前に	18
テクニカルサポートフォーム	18

テクニカルサポートを受けるための条件	19
テクニカルサポートの連絡先	19
旧バージョンのサポート期間について	20
補足	20

索引

はじめに

Drive Image とは

PowerQuest® Drive Image® 7.0 は、障害修復およびバックアップのためのソリューションです。ウィザードの指示に従って操作することで、バックアップイメージと呼ばれるハードディスクの正確なコピーを作成することができます。

また、Drive Image では、コンピュータのハードウェアのアップグレード時に、ハードディスクの内容すべてを新しいハードディスクに簡単にコピーできます。

Drive Image を使用するメリット

コンピュータのバックアップを作成しておくことで、障害が発生してもコンピュータを復元することができます。Drive Image を使用すれば、重要なドキュメント、画像、財務記録など、コンピュータに格納されているすべてのデータを保護することができます。そのため、重大な障害が発生しても、一部のファイルだけでなく、ドライブのオペレーティングシステム、アプリケーション、およびデータファイルを復元できます。また、優れたバックアップ機能により、必要に応じてファイルやフォルダを個別に復元することもできます。

Drive Image を使用すると、次のような問題を回避できます。

- ウィルスの攻撃
- アプリケーションが不安定になった場合
- ハードディスクの障害
- 誤ったファイルの削除または上書き
- ファイルの破損
- 誤って空にしたごみ箱
- ハードディスクのパーティションの損傷
- FDISK によるパーティションの削除

クイックスタートガイドについて

本クイックスタートガイドでは、Drive Image の機能の概要のみを説明しています。このガイドで説明されていない詳細については、オンラインヘルプ([ヘルプ]→[目次])をクリックして表示)またはDrive Image CD内にPDF形式で格納されているマニュアルを参照してください。

Drive Image 7.0

Drive Image の動作概要

バックアップイメージに保存するファイルやフォルダは個別に選択する必要がありません。代わりに、バックアップするドライブを選択します。Drive Image では、そのドライブの内容をバックアップイメージと呼ばれるファイルにコピーします。

バックアップイメージは、ハードディスク、USB/IEEE1394(FireWire)接続のドライブ、ネットワークドライブ、CD/DVD、リムーバブルメディアに保存できます。

コンピュータで問題が発生したとき、または何らかの理由でファイルやフォルダを復旧する必要があるとき、既存のバックアップから、ファイル、フォルダ、またはドライブ全体を復元できます。

Drive Image 7.0 の新機能

- ネットワークサポートの向上 – 以前のバージョンの Drive Image では、一部のバックアップをネットワークに保存するには、Boot Disk Builder を使用する必要がありました。Drive Image 7.0 では、ネットワークサポート機能が組み込まれているため、さらにセットアップを行う必要はありません。また、ピアツーピアネットワーク上の共有ネットワークドライブにバックアップイメージを保存することもできます。

- **ホットバックアップ** – 以前のバージョンの Drive Image では、バックアップイメージの作成時に、Windows を終了させ DOS モードへ切り替える場合があります。Drive Image 7.0 では、Windows を終了せずにバックアップを作成できます。
- **USB/IEEE1394(FireWire) デバイス、および DVD へのバックアップ保存機能** – Drive Image 7.0 を使用すると、バックアップを USB/IEEE1394(FireWire) 接続のデバイス、CD/DVD メディア、ローカルハードディスク、ネットワークドライブ、リムーバブルメディアに保存できます。
- **ImageExplorer の名称変更** – バージョン 7.0 では、ImageExplorer の設計が変更され、Backup Image Browser に名称が変わりました。

システム要件

オペレーティングシステム	Windows 2000 Professional、Windows XP Home、Windows XP Professional
プロセッサ	Pentium 150 MHz 以上 Windows XP 上で利用するには Pentium II 300MHz 以上推奨
RAM	265MB 以上 (オンボード VGA へのシェアードメモリは差し引く)
ハードディスクの空き領域	50 MB (プログラムファイル用) バックアップイメージの格納領域。ただし、ネットワークまたはリムーバブルメディアに格納する場合は除きます (必要な領域は、バックアップするファイルの量と種類によります。)

CDまたは DVDドライブ

サポートされているドライブの一覧については、ネットジャパンのウェブサイトから、Drive Imageの製品情報を参照してください。

Windowsが起動しない場合など、システムパーティションの復元を行う際には、製品のCDからマシンを起動する必要があります。そのためには、通常BIOSの設定を変更し、CD/DVD-ROMドライブからマシンを起動できるようにする必要があります。

ソフトウェア

Drive Imageをインストールして使用する前に、Microsoft .NET Frameworkの最新バージョンをインストールする必要があります。Drive Imageをインストールする際、まだMicrosoft .NET Frameworkがインストールされていない場合は、Drive Imageのインストールの途中でMicrosoft .NET Frameworkのインストールを行うかの確認メッセージが表示されます。(Microsoft .NET Frameworkのインストールには別途にハードディスクの空き容量が必要です。)

Drive Imageをインストールする

- 1 Drive Image CDを挿入します。CDブラウザ画面が自動的に表示されない場合は、CDからAUTORUN.EXEを検索して、ダブルクリックします。
- 2 CDブラウザ画面で、[インストール]をクリックします。
- 3 ようこそ画面で、[次へ]をクリックします。
- 4 ライセンス契約書を読みます。[使用許諾契約の条項に同意します]を選択して、[次へ]をクリックします。

4 クイックスタートガイド

5 (必要に応じて) Drive Image プログラムファイルのインストール先を変更するには、[変更]をクリックして、インストール先を指定します。

6 [次へ]をクリックします。

7 [はい]または[いいえ]をクリックして、Drive Image をネットワークで使用するかどうかを指定します。

8 ネットワークで使用する場合は、[エージェントの設定]画面が表示されます。ユーザー名、ドメイン名またはコンピュータ名、およびパスワードを入力します。これにより、Drive Image にネットワークへの読み込みおよび書き込みアクセス権が与えられます。[次へ]をクリックします。

バックアップイメージを保存するマシンに対しては、管理者権限が必要です。

9 .NET Framework がインストールされていないパソコンでは、ここで .NET Framework のセットアップが開始されます。

Microsoft .NET Framework パッケージをインストールする場合には[はい]をクリックしてください。[はい]を押した場合には、Microsoft .NET Framework セットアップという画面が表示されるので、[はい]をクリックします。

.NET Framework のセットアップが開始されます。[次へ]をクリックします。セットアップが完了するとインストールが完了しましたという画面が表示されます。[OK]をクリックします。

10 [インストール]をクリックします。

進捗状況画面にインストール状況が表示されます。

11 インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

PQRE で起動する

PQRE とは、インストール用 CD から起動して復元を行うことです。

Windows2000/XP がインストールされているパソコンでは、ほとんどの場合には CD から起動ができますが、BIOS 設定を変更しないと CD から起動しない可能性もあるため、予め Drive Image 7.0 のインストール用 CD-ROM から起動ができることを確認してください。

CD-ROM からの起動を確認するには、Drive Image 7.0 のインストール用 CD を挿入してコンピュータを起動します。インストール CD から起動を行うと、Press Any Key To Boot From CD.. と表示されるので、すばやく何かキーを押してください。次のようなメニューが表示されます。

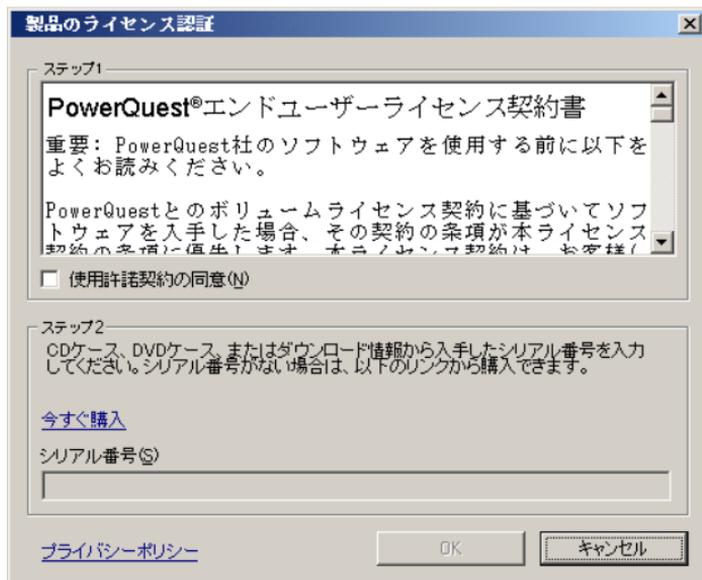


PQRE を正常に実行できない場合は、問題解決のため早期に措置を講じることができます。そうすることで、後からバックアップしたマシンで重大な障害が発生した場合でも、確実に PQRE を実行してシステムやデータを復旧できます。

Drive Imageのライセンス認証

Drive Imageはライセンス認証する必要があります。認証を行わないと、30日でソフトウェアの期限が切れます。

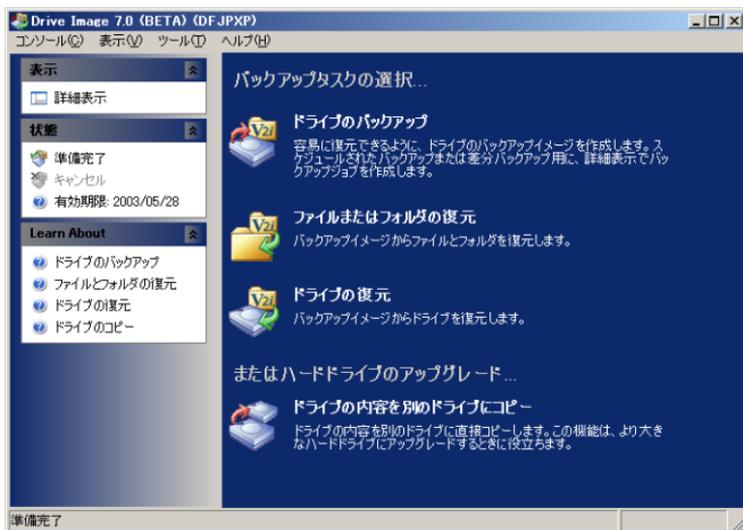
- 1 Drive Imageのメイン画面で、[ヘルプ]→[製品のライセンス認証]をクリックします。



- 2 ライセンス契約書を読み、[使用許諾契約の同意]を選択して、ライセンス契約書の条件に同意します。
- 3 購入した商品に記載されている Drive Image のシリアル番号を入力します。
- 4 [OK]をクリックします。

Drive Image を起動する

- 1 [スタート]→[プログラム]→[PowerQuest Drive Image 7.0] をクリックします。

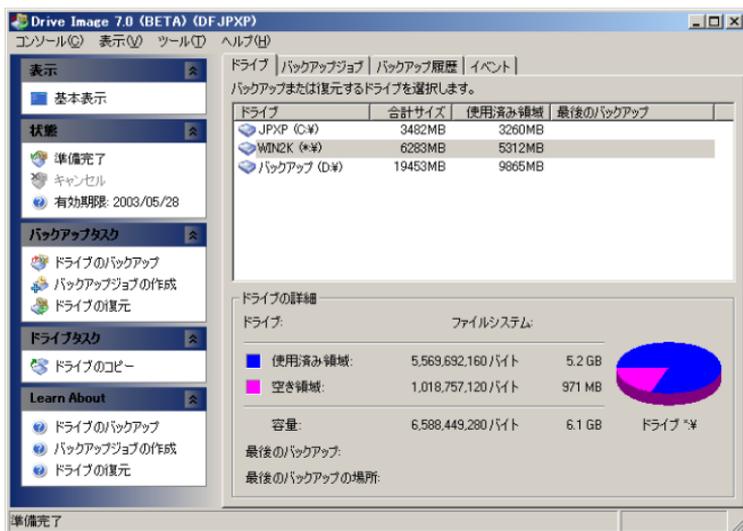


基本表示と詳細表示

Drive Image には2つ表示があります。通常は基本表示になっています。基本表示には、メニューバー、共通操作用のアイコン(右側のペイン)、および表示切り替えと操作の実行に使用するショートカット(左側のペイン)があります。

基本表示からは、よく使う機能をすばやく実行することができます。

詳細表示に切り替えるには、基本表示で[表示]→[詳細表示]をクリックします。



詳細表示には、マシン上のドライブ、作成したバックアップジョブ、各ドライブのバックアップ履歴、およびDrive Imageに関連したイベントのメッセージの概要が表示されます。

基本表示では、ドライブをただちにバックアップすることしかできませんが、詳細表示からは、バックアップスケジュールの設定ができます。

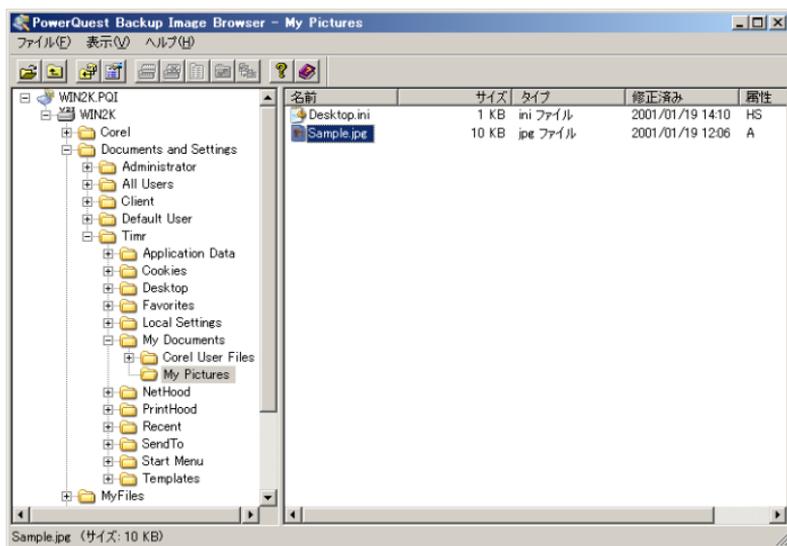
PowerQuest Backup Image Browser

Drive Imageに付属するBackup Image Browserでは、バックアップイメージファイルの管理と保守を簡単に行えます。バックアップイメージファイルの内容の表示、バックアップイメージから、個別ファイルの復元、選択したボリュームのマウントが1つの画面から行うことができます。

PowerQuest Backup Image Browser を開く

- 1 Windows の [スタート] メニューから [プログラム] → [PowerQuest Drive Image] → [Backup Image Browser] をクリックします。

また、Drive Image 7.0 の [詳細表示] を利用している場合には、[バックアップ履歴] 中表示されているバックアップファイルを右クリックして、[ファイルとフォルダの復元] を左クリックすると Backup Image Browser を起動することができます。



[ツリーペイン] – Backup Image Browser で開いたすべてのバックアップイメージファイル (.V2i、.iV2i、および .pqj) の階層構造のツリーが表示されます。Backup Image Browser では次の操作が行えます。

- バックアップイメージ内のボリュームをマウントまたはマウント解除する。
- 選択したバックアップイメージファイルが有効であることを検証する。

- バックアップイメージ内のファイルやフォルダを参照する。
- 選択したバックアップイメージファイルのプロパティを表示する。

Drive Image で実行できる作業

次の表では、Drive Image で実行できる操作と、その開始手順を説明しています。

操作	手順
ドライブをただちにバックアップする。	基本表示の右側にある[ドライブのバックアップ]をクリックします。
ドライブを後でバックアップする。	詳細表示の左側で[バックアップジョブの作成]をクリックします。
ドライブ全体を定期的にバックアップする。	詳細表示の左側で[バックアップジョブの作成]をクリックします。
スケジュール設定したバックアップを参照する。	詳細表示で[バックアップジョブ]タブをクリックします。
バックアップイメージからファイルやフォルダを復元する。	基本表示の右側で、[ファイルまたはフォルダの復元]をクリックします。
Windows 内のバックアップイメージを復元する。	基本表示の右側で[ドライブの復元]をクリックします。
バックアップを復元してクラッシュが起きたマシンを復旧する。	Drive Image の CD から起動して、復元します。
ドライブ上の完了したバックアップの履歴を参照する。	詳細表示で[バックアップ履歴]タブをクリックします。

操作	手順
バックアップイメージのデフォルトの格納場所を設定する。	メニューバーの[ツール]→[オプション]をクリックします。
ハードディスクの内容を新しいハードディスクにコピーする。	基本表示の右側で[ドライブの内容を別のドライブにコピー]をクリックします。
バックアップが正常に実行されているかを確認する。	詳細表示で[イベント]タブをクリックします。

バックアップイメージを作成する

ドライブのバックアップを作成する際、Drive Imageはその時点のハードディスクの状態をバックアップイメージ(*.V2iファイル)として保存します。

ドライブのバックアップを実行する前に、13ページの「バックアップの保存場所の決定」をお読みください。

通常のバックアップを作成する

Drive Image 2002 までのバックアップファイルのように、一度バックアップしたイメージに対して差分バックアップをとらない場合に利用します。通常はOSインストール直後やよく利用するアプリケーションをインストールした時などに利用します。

- 1 基本表示で[ドライブのバックアップ]をクリックします。
- 2 以降は、ウィザードに表示される指示に従って操作してください。詳細については、Drive Image のオンラインヘルプまたは『Drive Image ユーザーガイド』を参照してください。

- 3 詳細表示で、[ドライブ]タブをクリックし、次に[ツール]→[バックアップジョブの作成]をクリックします。
- 4 バックアップイメージファイルを保存する場所、バックアップ作成のスケジュール、およびその他のオプションを選択してウィザードを完了します。

バックアップの保存場所の決定

バックアップイメージは、ローカルハードディスク、ネットワークドライブ、USB/IEEE1394(FireWire)接続のドライブに保存できません。どのオプションを選択した場合にも長所と短所があります。

	長所	短所
ハード ディスク	<p>高速での作成および復元</p> <p>無人バックアップのスケジュール設定が可能</p> <p>ドライブ領域を繰り返し書きできるため安価</p>	<p>貴重なドライブ領域を使用</p> <p>バックアップ対象のハードディスクと同じハードディスクにバックアップファイルがある場合には、ハードディスクに障害が発生した場合に損害を受けやすい</p>
リムーバブル メディア (ローカル)	<p>ハードディスクに障害が発生した場合に安全</p> <p>保管に最適</p> <p>ハードディスク内にバックアップをとらない分、空き領域を別の方法で利用できる</p>	<p>無人バックアップの作成は不可でプロセスは手動</p> <p>他の場所から行う場合と比べて復元に時間がかかる(特に個別のファイルやフォルダを復元する場合)</p>

	長所	短所
USB/FireWire ドライブ (ローカル)	<p>高速での作成および復元</p> <p>無人バックアップのスケジュール設定が可能</p> <p>ドライブ領域は繰り返し上書きすることが可能</p> <p>別の場所での保管が可能</p>	<p>PQRE で復元するには、Windows XP 自体に組み込まれている標準的なドライバで認識ができないものは、利用できない可能性があります。</p>
ネットワーク ドライブ	<p>高速での作成および復元</p> <p>無人バックアップのスケジュール設定が可能</p> <p>ドライブ領域を繰り返し上書きできるため安価</p> <p>ローカルハードディスクに障害が発生した場合に安全</p>	<p>PQRE で復元するには、Windows XP 自体に組み込まれている標準的なドライバで認識できないネットワークコネクタは、利用できない可能性があります。</p> <p>バックアップと復元に必要な権限を理解し、割り当てる必要あり</p>

バックアップを復元する

バックアップイメージからパーティション全体を復元したり、特定のファイルやフォルダのみを選択して復元することが出来ます。次の表では、復元オプションの概要と各復元タイプの実行方法を示します。

希望する作業	バックアップの復元方法
特定のファイルやフォルダを復元したい。 Windows上で、Drive Imageは実行できる。	基本ウィンドウで[ファイルまたはフォルダの復元]をクリックして、Backup Image Browserを起動します。16ページの「Backup Image Browserを使用する」を参照してください。
特定のファイルやフォルダを復元したい。 Windows上で、Drive Imageは実行できない。	Drive Image CDからマシンを起動し、(PQRE)を実行します。メニューで、[Backup Image Browser]を選択します。16ページの「PQREのトラブルシューティング」を参照してください。
Windows上でDrivelimageを起動できる。 Windowsを起動するドライブ以外を復元したい。	基本表示で[ドライブの復元]をクリックします。ウィザードを利用して、バックアップを復元します。
Windowsを起動するドライブを復元したい。	Drive Image CDからマシンを起動し、(PQRE)を実行します。メニューで、[System Restore]を選択します。ウィザードを利用して、バックアップを復元します。

PQRE のトラブルシューティング

PQRE は、起動時に全てのデバイスを検出するために、起動するまでに時間がかかります。

Drive Image の CD からマシンを起動できない場合は、搭載されている CD/DVD-ROM ドライブからマシンを起動できるように、BIOS を変更しなくてはならない場合があります。

PQRE を起動しても、ストレージデバイスやネットワークデバイスが表示されないこともあります。

これらの問題の解決方法については、Drive Image のオンラインヘルプまたはユーザーガイドの「PQRE トラブルシューティング」の項を参照してください。

Backup Image Browser を使用する

Backup Image Browser を使用して、バックアップイメージからファイルやフォルダを復元できます。

- 1 [ファイル]→[開く]で、バックアップイメージを開きます。
- 2 画面、左側でバックアップイメージをダブルクリックし、使用できるフォルダとファイルを表示します。
- 3 復元するファイルまたはフォルダを選択し、[ファイル]→[復元]をクリックします。

ドライブをコピーする

Drive Image を使用すると、オペレーティングシステム、アプリケーション、およびデータをハードディスク間でコピーできます。これは、大容量のハードディスクにアップグレードする場合に利用できます。

また、この機能を使用すると、バックアップイメージの作成、復元を行わなくても、別のハードディスクに現在のドライブの内容をコピーできます。

ドライブ間でデータをコピーする前に、ハードウェアを正しく設定する必要があります。ドライブのコピーに関する詳細は、Drive Image のユーザーガイドおよびオンラインヘルプを参照してください。

- 1 基本表示で、[**ドライブの内容を別のドライブにコピー**] をクリックします。
- 2 ウィザードに表示される手順に従って、コピー元ドライブ、コピー先ドライブ、およびドライブ間でのコピーに使用するオプションを正しく選択します。

Drive Image は、イメージファイル (*.V2i) を作成せずにドライブ間ですべてのデータをコピーします。

テクニカルサポート

ここでは、テクニカルサポートについて説明します。

- テクニカルサポートへ連絡する前に
- テクニカルサポートフォーム
- テクニカルサポートを受けるための条件
- テクニカルサポートの連絡先
- 旧バージョンのサポート期間について
- 補足

テクニカルサポートへ連絡する前に

(株) ネットジャパンのテクニカルサポートへご連絡いただく前に、本書で解説している問題への対処方法を参照し、お試しください。また、本書の発行後に追加・変更された情報が README として入っています。こちらも参照してください。

テクニカルサポートフォーム

本書の解説に適切な解決法が見つからなかった場合は、パッケージに同梱されている「テクニカルサポートフォーム」に必要な事項をご記入の上、ファックスまたはEメールにてお送りください。

注意： Drive Image の CD-ROM の中には、パーティション診断ソフト PARTINFO が入っています。エラーの内容によっては、PARTINFO を実行して解析した診断レポートが必要な場合もあります。

テクニカルサポートを受けるための条件

本書の解説では問題解決に至らなかった場合は、以下の方法でテクニカルサポートへご連絡ください。ここでサポートを受けられるのは、Drive Image の登録ユーザーに限られています。無償サポートを受けられる期間は、ご登録日から90日間まで、とさせていただきます。

テクニカルサポートの連絡先

注意： テクニカルサポートへお問い合わせなさる際には：

- テクニカルサポートフォーム（シリアル番号を必ず明記してください）
- 症状（同梱のテクニカルサポートフォーム、もしくはそれに準拠したもので、なるべく手順がはっきりわかるようにお願いします）

上記の資料をお送りください。（電話でお問い合わせなさる際も、お手元にこれらをご用意ください。）これらの情報がそろっていない場合には、ご回答できないこともございます。

ファックス 03-3864-5230

前ページに記載された内容と、発生した問題の概略をお送りください。

Eメール support@netjapan.co.jp

弊社 Web サイト (www.netjapan.co.jp) や PowerQuest 社 Web サイト (www.powerquest.com) にも情報が掲載されていますので、お問い合わせいただく前にご参照ください。

郵便

郵送先：〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-18-3
(株) ネットジャパン
テクニカルサポートまで

電話 03-3864-5290

このサービスは、休日・祝日を除く月曜から金曜日の10:00から12:00、13:00から17:00の間に実施していますが、混雑が予想されますので、緊急の場合以外は極力お避けください。

旧バージョンのサポート期間について

旧バージョンのサポートは、新バージョンがリリースされてから120日間、また、製品の販売中止または他製品への統合から180日間を限度とします。

補足

- JISキーボード(通常日本で販売されているものはすべてこれです)を使用している場合、英語MS-DOSを起動させた時に、“:”や“¥”を入力する方法は次のとおりです。
“:”の入力方法：Shiftキーを押しながら“;+れ”が表示されたキーを押します。
“¥”の入力方法：“}]む”が表示されたキーを押します。
- 本書は開発中の画面をもとに作成しています。お手元の製品の画面表示と異なる場合がある旨、ご了承ください。

索引

B

Backup Image Browser 16

概要 9

開く 10

D

Drive Image CDから起動する 16

Drive Imageのメリット 1

Drive Imageのライセンス認証 7

Drive Imageをインストールする 4

DVDのサポート 3

F

FireWireのサポート 3

I

ImageExplorer

Backup Image Browserを参照

J

JISキーボード 20

P

PQRE

テスト 6

トラブルシューティング 16

バックアップを復元する 15

PQREのテスト 6

U

USBのサポート 3

W

Windowsのサポート 3

お

オンラインヘルプ 2

き

基本表示 8

く

クイックリファレンス 11

さ

サポート、テクニカル 18

し

システム要件 3

詳細表示 9

使用不可、ネットワークドライブ
16

新機能 2

て

テクニカルサポート 18

テクニカルサポートへ連絡する前
に 18

と

ドライブのバックアップ 12

ドライブをコピーする 17

トラブルシューティング

PQRE 16

期限切れの Drive Image ソフト
ウェア 7

ね

- ネットワークサポート 2
- ネットワークへのバックアップ
イメージの保存 2

は

- ハードドライブをアップグレード
する 17
- バックアップ
 - *.V2i ファイルを使用せずに作
成する 17
 - 作成する 12
 - デフォルトの場所、指定 12
 - 復元する 15
 - 保存場所の決定 13
- バックアップイメージ
 - バックアップを参照
- バックアップのデフォルトのパス
12
- バックアップの場所、選択 13
- バックアップを復元する 15

ひ

- ピアツーピアネットワークの
サポート 2
- 表示、基本と詳細 8

へ

- ヘルプ、オンライン 2

ほ

- ホットバックアップ 3

ま

- マニュアル 2

ゆ

- ユーザーガイド 2

よ

- 要件、システム 3